

整形外科科学

A 欧 文

A-a

1. Koseki H, Shiraishi K, Asahara T, Tsurumoto T, Shindo H, Baba K, Taoda H, Terasaki N: Photocatalytic bactericidal action of fluorescent light in a titanium dioxide particle mixture: an in vitro study. *Biomed Res* 30: 189-192, 2009 (IF: 1.146) *
2. Koseki H, Tsurumoto T, Osaki M, Shindo H: Multifocal osteonecrosis caused by traumatic pancreatitis in a child. A case report, *J Bone Joint Surg Am* 91: 2229-2231, 2009 (IF: 3.427) *
3. Okano K, Enomoto H, Osaki M, Shindo H: Joint congruency as an indication for rotational acetabular osteotomy. *Clin Orthop Relat Res* 467(4): 894-900, 2009 (IF: 2.065) *
4. Hozumi A, Osaki M, Goto H, Sakamoto K, Inokuchi S, Shindo H: Bone marrow adipocytes support dexamethasone-induced osteoclast differentiation. *Biochem Biophys Res Commun* 382(4): 780-4, 2009 (IF: 2.548) ◎*○
5. Date Y, Abe Y, Aoyagi K, Ye Z, Takamura N, Tomita M, Osaki M, Honda S: Depressive symptoms in Chinese factory workers in Nagasaki, Japan. *Ind Health* 47(4): 376-82, 2009
6. Okano K, Yamada K, Takahashi K, Enomoto H, Osaki M, Shindo H: Long-term outcome of Ludloff's medial approach for open reduction of developmental dislocation of the hip in relation to the age at operation. *Int Orthop* 33(5): 1391-1396, 2009 (IF: 1.825) *
7. Kajiyama S, Tsurumoto T, Osaki M, Yanagihara K, Shindo H: Quantitative analysis of *Staphylococcus epidermidis* biofilm on the surface of biomaterial. *J Orthop Sci* 14(6): 769-75, 2009 (IF: 1.027) ○*
8. Kobuke Y, Abe Y, Ye Z, Honda S, Tomita M, Osaki M, Aoyagi K: Association of Age, Obesity, Joint Pain, and Chewing Ability with Chair Stand Difficulty, among Community-dwelling Elderly People in Nagasaki, Japan. *Acta Med. Nagasaki* 53: 65-68, 2009

A-b

1. Tsurumoto T, Yonekura A, Kajiyama S, Shindo H: Background of Generalized Osteoarthritis; Epidemiological analysis of the Distribution of Peri-articular Osteophytes in Human Skeletons. *Osteoarthritis and Cartilage*, 17, S46-47, 2009 (IF: 3.888) *

B 邦 文

B-a

1. 玉井 崇, 弦本敏行, 梶山史郎, 白石公太郎, 安達信二, 進藤裕幸: Congo red 含有寒天培地を用いたブドウ球菌バイオフィルムの定性的分析. *日本骨・関節感染症学会雑誌*22: 14-16, 2009
2. 白石公太郎, 小関弘展, 弦本敏行, 進藤裕幸, 馬場恒明, 埤田博史: 光触媒酸化チタンの黄色ブドウに対する殺菌効果 薄膜と微粒子水溶液. *日本骨・関節感染症学会雑誌*22: 17-21, 2009
3. 弦本敏行, 進藤裕幸: 整形外科臨床例の骨関節・軟部組織から検出された菌株の分析. *日本骨・関節感染症学会雑誌*22:73-76, 2009
4. 小関弘展, 白石公太郎, 弦本敏行, 進藤裕幸, 埤田博史, 寺崎 正: 新しい医療技術 蛍光灯による酸化チタン微粒子溶液の光触媒殺菌作用. *整形・災害外科* 52 (3): 287-291, 2009
5. 富田雅人, 熊谷謙治, 中村隆幸, 志田崇之, 楊井知紀, 進藤裕幸: 大腿骨外反変形に対し矯正骨切り術を行った多発性内軟骨腫の1例. *整形外科と災害外科* 58: 135-140, 2009
6. 宮路剛史, 古市 格: NexGen PS type セメントレスTKAのX線学的調査ー脛骨コンポーネントのRadiolucent line-. *膝* 33(1): 183-187, 2009
7. 松村 恵, 高橋克郎, 能 由美, 堀 泰輔, 中尾利恵, 米倉暁彦, 宮本俊之, 中山怜子, 下迫淳平, 岡 誠一, 松瀬由紀: ドロップジャンプ動作の特徴と筋柔軟性、股関節屈曲可動域、下腿前傾角度の関連長崎県高校女子バスケットボール選手での検討. *長崎理学療法*9: 17-22, 2009
8. 宮本俊之, 米倉暁彦, 進藤裕幸: 研修医が知っておきたい骨折治療マニュアル 大腿骨骨幹部骨折. *関節外科* 28(4): 170-175, 2009
9. 小関弘展, 中西秀二, 森 俊介, 弦本敏行: 外傷性膝炎に続発した小児多発性骨壊死の1例. *整形・災害外科* 52: 433-435, 2009
10. 小関弘展, 森 俊介, 弦本敏行: 膝窩翼状片症候群の1例. *臨床整形外科* 44(5): 497-499, 2009
11. 後藤久貴, 小関弘展, 熊谷謙治, 進藤裕幸, 山口博一郎: 動脈瘤を合併した膝窩動脈捕捉症候群の1例. *整形外科* 60(6): 545-548, 2009

12. 古川敬三, 衛藤正雄, 梶山史郎, 進藤裕幸: 吸収性アンカーを用いた鏡視下腱板修復術の治療経験. 肩関節33:559-562, 2009
13. 川口耕平, 馬場秀夫, 田上敦士, 岡崎成弘, 進藤裕幸: 小児ダウン症に伴う環軸関節亜脱臼に対して片側Magerl法を行った1例. 整形外科と災害外科58(3): 456-459, 2009
14. 宮本俊之, 梶山史郎, 米倉暁彦, 進藤裕幸: 下肢長管骨骨幹部骨折に伴った膝関節靱帯損傷. 骨折31(3): 602-604, 2009
15. 富田雅人, 熊谷謙治, 浅原智彦, 川口耕平, 林 徳眞吉, 安倍邦子, 進藤裕幸: 非特異的な単純X線像を呈した骨肉腫の2例. 整形外科と災害外科58: 382-386, 2009
16. 黒木綾子, 熊谷謙治, 富田雅人, 浅原智彦, 林 徳眞吉, 安倍邦子, 進藤裕幸: 膝関節内に発生した腱鞘線維腫の一例. 整形外科と災害外科58: 399-402, 2009.
17. 黒木一央, 宮本俊之, 米倉暁彦, 進藤裕幸: Taylor Spatial Frame にて尖足矯正を行った一例. 整形外科と災害外科58(3): 528-531, 2009
18. 金丸由美子, 米倉暁彦, 宮本俊之, 岡崎成弘, 進藤裕幸: 膝開放骨折後の内反膝変形に難渋している一例. 整形外科と災害外科58(3): 507-510, 2009
19. 穂積 晃, 村田雅和, 宮田倫明, 久芳昭一, 前田和政, 松村陽介, 古市 格: 高齢者大腿骨頸部骨折におけるセメントレス人工骨頭置換術(Synergy select II)の初期固定性に関する検討. 整形外科と災害外科58(3): 432-436, 2009.
20. 古市 格, 村田雅和, 宮田倫明, 穂積 晃, 久芳昭一, 前田和政, 松村陽介: 人工足関節置換術(FINE Total Ankle System)の手術手技の問題点と短期成績. 整形外科と災害外科: 58(3):516-521, 2009
21. 松村陽介, 古市 格, 村田雅和, 宮田倫明, 穂積 晃, 久芳昭一, 前田和政: 下肢切断術後の予後調査. 整形外科と災害外科 58(3):460-463, 2009
22. 古市 格, 村田雅和, 宮田倫明, 穂積 晃, 久芳昭一, 前田和政, 松村陽介: RA 股に臼底骨移植併用人工骨頭置換術を行った長期経過の4例(19年~24年のフォローアップ. 九州リウマチ29(2): 96-101, 2009
23. 村田雅和, 古市 格, 宮田倫明, 穂積 晃, 久芳昭一, 前田和政, 松村陽介: RA 人工膝関節置換術後感染に対する治療法の検討. 九州リウマチ29(2): 92-95, 2009
24. 古市 格, 村田雅和, 宮田倫明, 穂積 晃: 32mm ラージヘッドを使用したTHA の臨床成績と使用状況.Hip_Joint 35:65-67, 2009
25. 千葉 恒, 岡野邦彦, 榎本 寛, 尾崎 誠, 進藤裕幸: MDCT による変形性股関節症の骨梁構造解析 大腿骨頭の軟骨下骨について. Hip Joint 35: 664-667, 2009
26. 能 由美, 米倉暁彦, 宮本俊之, 中尾利恵, 堀 泰輔, 吉田大佑, 田邊桃子, 杉野美里, 今村宏太郎: 右膝前十字靱帯損傷を受傷した高校女子バスケットボール選手の受傷前に得られた形態のジャンプ動作に関する考察. Journal of Athletic Rehabilitation 6(1): 3-8, 2009
27. 古市 格, 村田雅和, 宮田倫明, 穂積 晃, 久芳昭一, 前田和政, 松村陽介: 高度破壊リウマチ肘関節に対するCoonrad-Morrey 人工肘関節の短期成績(感染例の経験を含む). 日本人工関節学会誌39: 82-83, 2009

B-b

1. 進藤裕幸: 【研修医が知っておきたい骨折治療マニュアル】 introduction. 関節外科28(4): 7-8, 2009
2. 馬場秀夫, 田上敦士, 進藤裕幸: 研修医が知っておきたい骨折治療マニュアル脊椎腰椎圧迫骨折. 関節外科28(4): 56-63, 2009
3. 馬場秀夫, 田上敦士, 進藤裕幸: 血液透析に伴う脊椎障害 その病態・診断・治療、血液透析に伴う脊椎障害の病態. 脊椎脊髄ジャーナル22(9): 1008-1016, 2009
4. 梶山史郎, 弦本敏行, 穂積 晃, 進藤裕幸: 【バイオフィルム感染症】臨床編 整形外科疾患とバイオフィルム. 臨床と微生物 36: 465-469, 2009
5. 崎村幸一郎, 福島達也, 衛藤正雄, 進藤裕幸: 【関節周辺骨折最近の診断・治療】膝関節膝関節周辺骨折に対するstaged management. 別冊整形外科 56: 146-150, 2009
6. 尾崎 誠, 進藤裕幸: 【スポーツ選手に対するメディカルサポート】骨盤・股関節におけるスポーツ外傷・障害. 関節外科 28(12): 1461-1466, 2009

B-c

1. 尾崎 誠, 進藤裕幸: 大腿部への進入法. (越智隆弘(編): 手術進入法一下肢. 最新整形外科学大系8, 中山書店, 東京, pp.194-201 所収)2009
2. 野村賢太郎, 尾崎 誠, 穂積 晃, 福島達也, 進藤裕幸: 特発性大腿骨頭壊死症に対する人工骨頭置換術と人工股関節置換術の治療成績の検討. 整形外科と災害外科58 Suppl.2 pp163, 2009
3. 後藤久貴, 尾崎 誠, 坂本和隆, 穂積 晃, 熊谷謙治, 進藤裕幸: 破骨細胞分化のサポート細胞としての骨髄脂肪細胞 共培養系における細胞接触の影響. 日本整形外科学会雑誌83(8) PP.S1128, 2009
4. 野崎義宏, 熊谷謙治, 宮田倫明, 尾崎 誠, 丹羽正美, 進藤裕幸: プラスタチンによる易卒中高血圧自然発症ラ

- ットを使用したステロイドホルモン誘発大腿骨頭壊死の抑制効果. 日本整形外科学会雑誌83(8) PP.S1089, 2009
5. 宮田倫明, 熊谷謙治, 野崎義宏, 尾崎 誠, 穂積 晃, 古市 格, 村田雅和, 丹羽正美, 進藤裕幸: SHRSP 大腿骨頭壊死に対するペントサン投与. 日本整形外科学会雑誌 83(8)PP.S1088, 2009
 6. 岡野邦彦, 榎本 寛, 尾崎 誠, 高橋克郎, 進藤裕幸: 先天性股関節脱臼を伴わない臼蓋形成不全例の頻度. 日本整形外科学会雑誌 83(3)PP.S346, 2009
 7. 千葉 恒, 岡野邦彦, 榎本 寛, 尾崎 誠, 進藤裕幸: 変形性股関節症の骨頭変形に関与する因子の多変量解析. 日本整形外科学会雑誌 83(2)PP.S127, 2009
 8. 岡野邦彦, 榎本 寛, 尾崎 誠, 進藤裕幸, 高橋克郎: 有痛性成人臼蓋形成不全股が先天性股関節脱臼治療歴を有する割合. 日本小児整形外科学会雑誌 18(1)pp.219-220, 2009

原著論文数一覧

	A-a	A-b	A-c	A-d	合計	SCI	B-a	B-b	B-c	B-d	合計	総計
2009	8	1	0	0	9	7	27	6	8	0	41	50

学会発表数一覧

	A-a	A-b		合計	B-a	B-b		合計	総計
		シンポジウム	学会			シンポジウム	学会		
2009	0	0	9	9	1	2	66	69	78

原著論文総数に係る教員生産係数一覧

	欧文論文総数 論文総数	教員生産係数 (欧文論文)	SCI 掲載論文数 欧文論文総数	教員生産係数 (SCI 掲載論文)
2009	0.18	0.9	0.778	0.7

Impact factor値一覧

	Impact factor	教員当たり Impact factor	論文当たり Impact factor
2009	15.926	1.593	2.275